

令和6年度ごみ量について（速報）

◆表1◆

項目	令和6年度実績	令和5年度実績	増減	一般廃棄物処理基本計画（第3次）R12年度計画目標・参考指標
人口（10/1基準）	239,580人	238,820人	760人	242,079人※
総排出量	58,024トン	58,871トン	▲847トン	—
総ごみ原単位	663.5g/人日	673.5g/人日	▲10.0g/人日	688g/人日（目標）
最終処分量	0	0	—	0（目標）
家庭系ごみ原単位	355.0g/人日	359.2g/人日	▲4.2g/人日	366g/人日（参考）
事業系ごみ量	7,945トン	7,868トン	+77トン	7,790トン（参考）
総資源化率	—	40.0%	—	42.1%（参考）

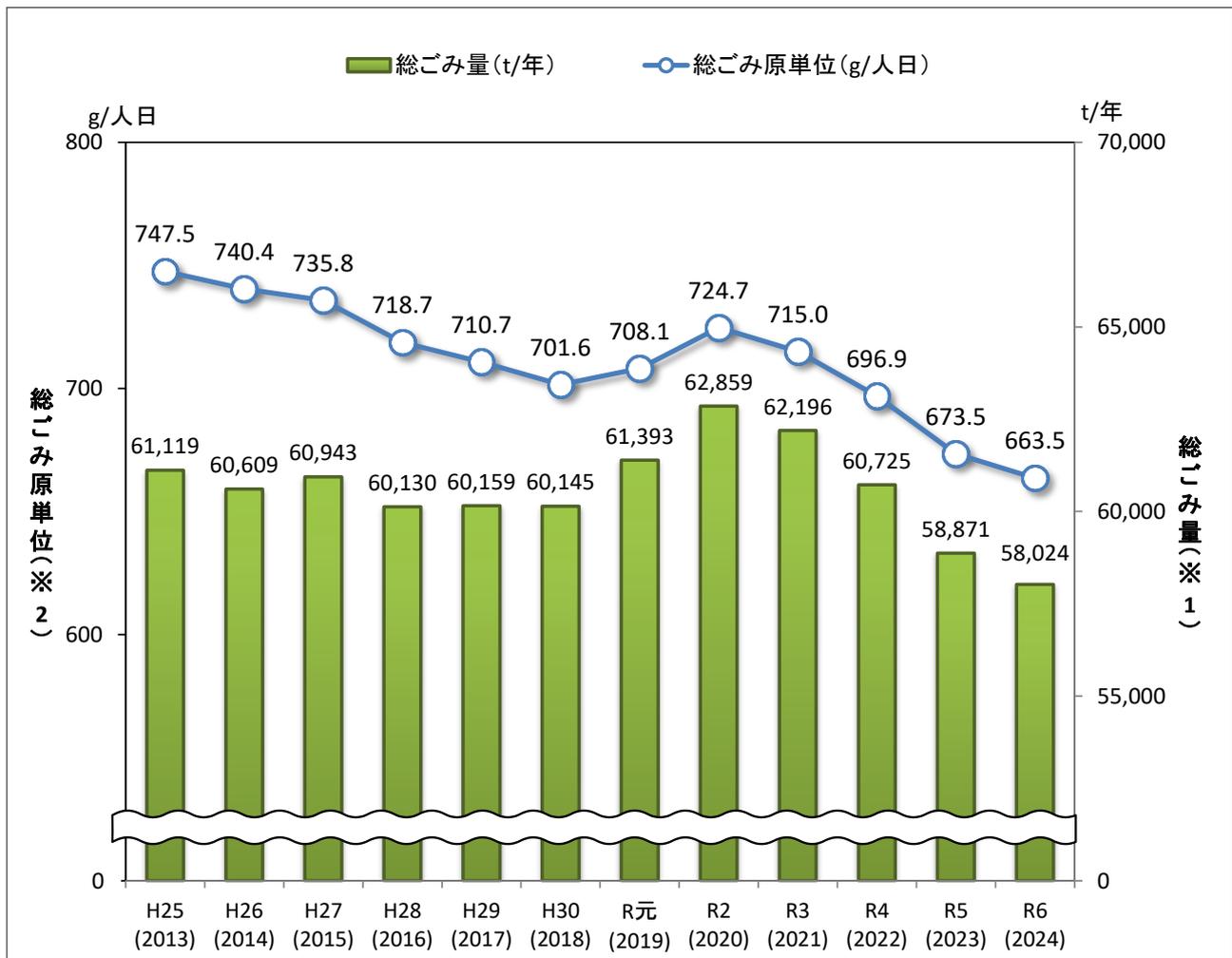
※「調布市の将来人口推計（令和4年3月）」による

◆表2◆

\*単位：トン

項目		令和6年度実績	令和5年度実績	増減	増減率
可燃ごみ	家庭系	26,131	26,404	▲274	▲1.0%
	事業系	7,945	7,868	77	1.0%
	小計 A	34,076	34,273	▲197	▲0.6%
不燃ごみ等	不燃ごみ	2,939	2,951	▲12	▲0.4%
	有害ごみ	82	80	2	2.5%
	小計 B	3,021	3,030	▲10	▲0.3%
粗大ごみ	可燃性粗大	1,158	1,138	20	1.8%
	不燃性粗大	336	406	▲70	▲17.3%
	粗大資源	399	417	▲18	▲4.3%
	小計 C	1,893	1,961	▲68	▲3.5%
資源物	古紙類	8,060	8,181	▲121	▲1.5%
	古布類	1,048	1,093	▲46	▲4.2%
	びん	1,645	1,712	▲67	▲3.9%
	缶	559	570	▲11	▲1.9%
	牛乳パック	18.8	19.8	▲1	▲5.1%
	ペットボトル	1,104	1,030	74	7.2%
	容器包装プラスチック	3,939	3,907	32	0.8%
	小型家電	5	5	1	10.9%
小計 D	16,378	16,517	▲139	▲0.8%	
収集ごみ量 E = (A+B+C+D)	55,368	55,782	▲414	▲0.7%	
集団回収 F	2,656	3,089	▲433	▲14.0%	
合計（総ごみ量 E+F）	58,024	58,871	▲847	▲1.4%	

# 1 総ごみ量の推移



※1 総ごみ量：家庭系ごみ＋事業系可燃ごみ＋資源物（集団回収を含む）

※2 総ごみ原単位：総ごみ量÷人口÷年間日数

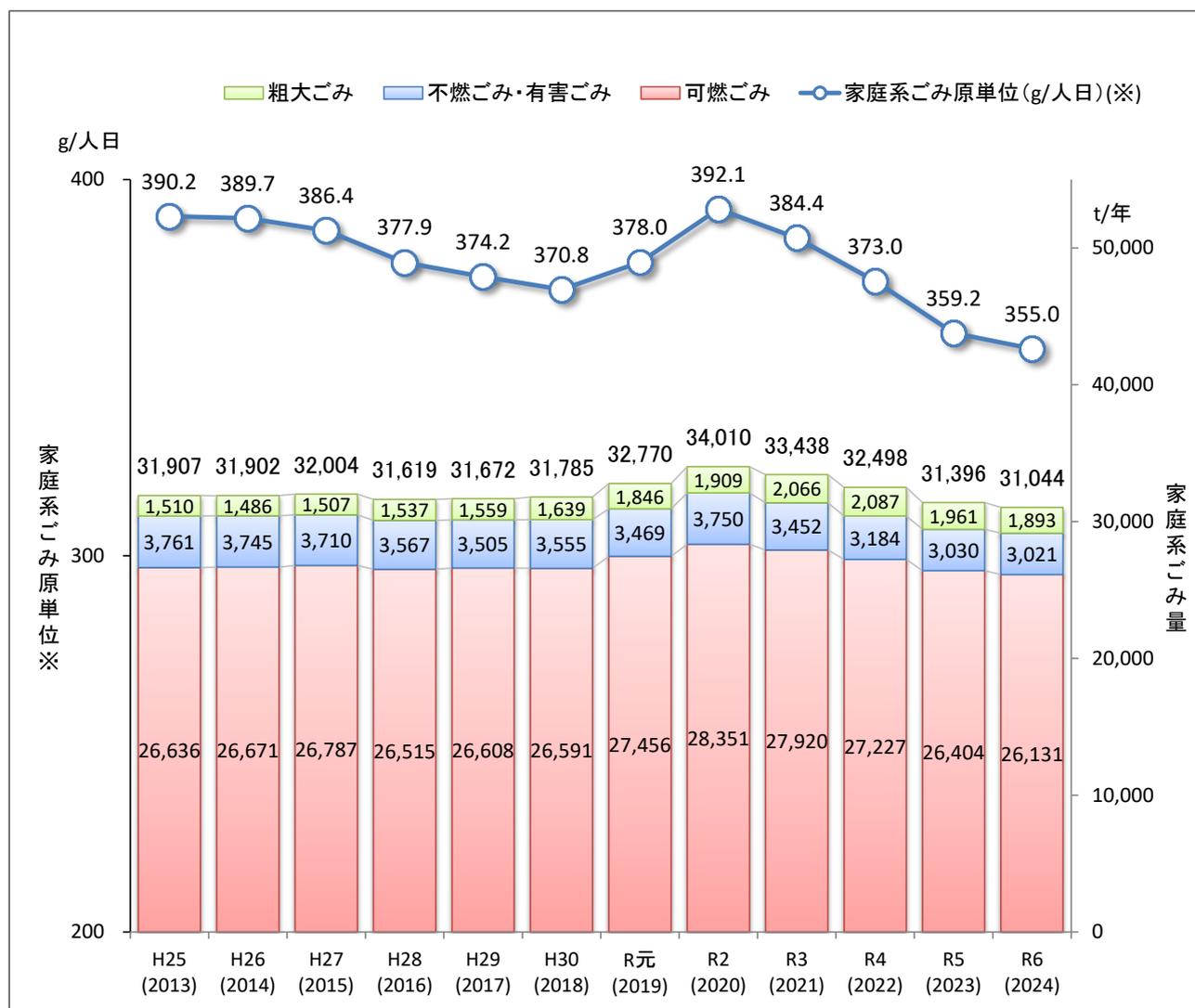
令和6年度の総ごみ量は58,024トンと、前年度と比べて847トン（-1.4%）の減少となりました。総ごみ原単位も663.5g/人日と前年度比で10.0g/人日（-1.5%）の減少となり、前年度に引き続き令和12年度の計画目標を達成しています。

前ページの対前年度の増減量をまとめると、

- 家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大）：352トン減
- 事業系可燃ごみ：77トン増
- 資源物・集団回収：572トン減

となっており、資源物・集団回収の減少が総ごみ量の減少に大きく寄与しています。

# (1) 家庭系ごみ量の推移



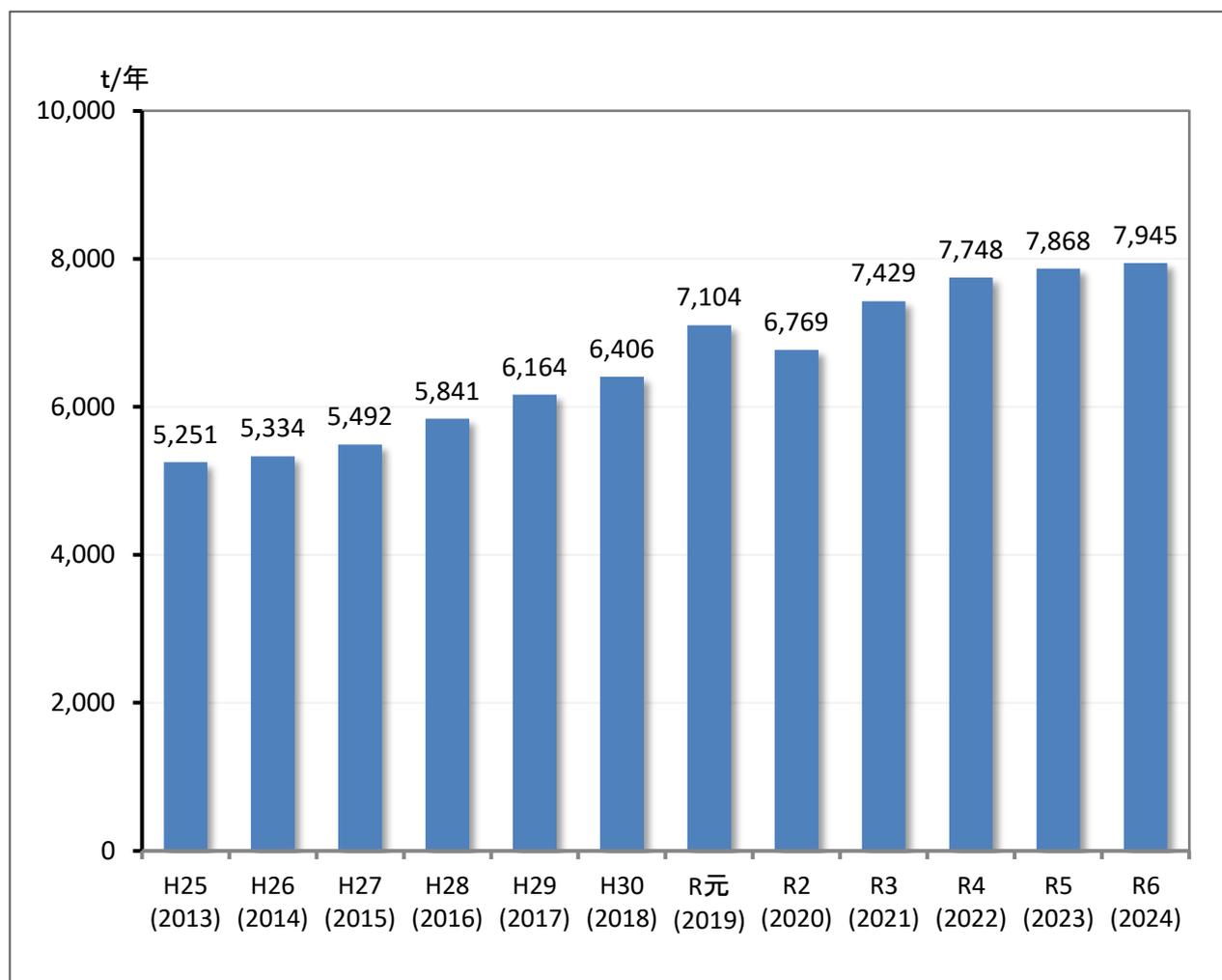
※ 家庭系ごみ原単位：家庭系ごみ（可燃,不燃,有害,粗大）÷人口÷年間日数  
 \* 事業系可燃ごみや資源物は除きます

令和 6 年度の家庭系ごみ排出量は 31,044 トンで、前年度より 352 トン（-1.1%）の減少となりました。

家庭系ごみ原単位（市民 1 人 1 日当たりの排出量）は、1.2%減の 355.0g/人日でした。

家庭系ごみ原単位は、令和 2 年度にコロナ禍の影響で大幅に増加し、その後令和 5 年度までは大幅な減少傾向にありましたが、令和 6 年度はコロナ禍前の緩やかな減少傾向に移行しつつあります。

## (2) 事業系可燃ごみ量の推移

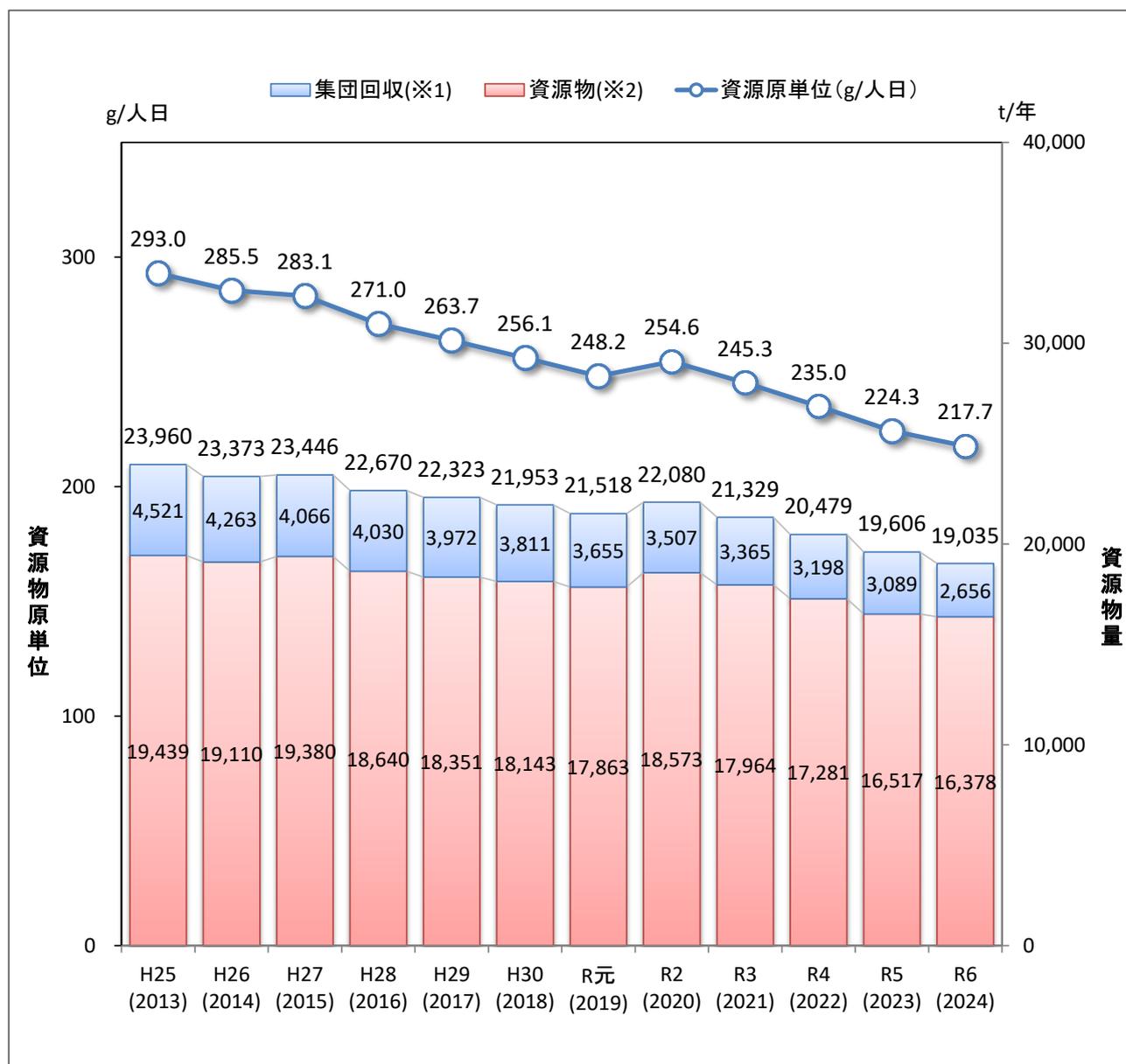


※事業系可燃ごみ量：清掃工場に持ち込まれた事業系の可燃ごみ量

令和6年度の事業系可燃ごみ量は7,945トンと、対前年度で77トン（1.0%）の増加となりました。

コロナ禍後の大幅な増加傾向からは緩やかになっているものの、依然として増加傾向が続いています。

### (3) 資源物・集団回収量の推移



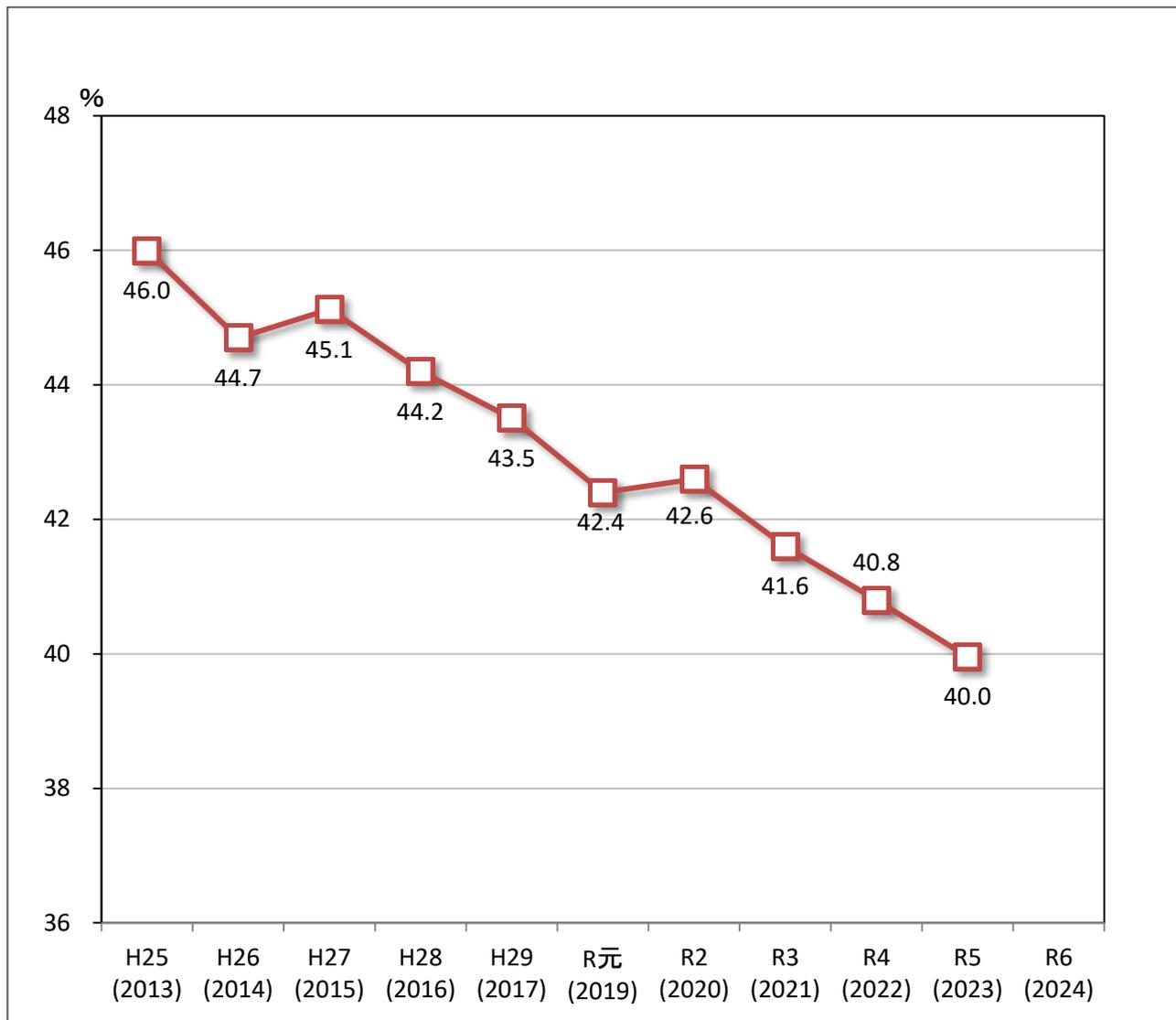
※1 集団回収：子ども会や自治会など市民団体が回収した資源

※2 資源物：行政が分別収集した資源

令和6年度の資源物・集団回収量は、前年度から572トン減（前年度比2.9%減）の19,035トンとなりました。原単位（1人1日あたりの量）は前年度比3.0%減の217.7g/人日となっており、減少傾向が続いています。

容器包装プラスチックやペットボトルは前年度より増加していますが、古紙類やびん類が減少しています。

## 2 総資源化率の推移



総資源化率 = (資源物収集量 + 中間処理施設資源化量\* + 集団回収量) ÷ 総ごみ量

\* 粗大ごみからの金属回収や焼却灰のエコセメント化を含む

※令和6年度の総資源化率は、ふじみ衛生組合及び三鷹市と調整のうえ、資源化量が確定次第掲載します。